

2017年度青森県薬剤師連盟若手薬剤師指導者育成 Forum 開催報告

青森県薬剤師連盟
総務 類家 徳久

2月24日～25日の2日間にわたり、2017年度青森県薬剤師連盟若手薬剤師指導者育成 Forum が八戸の地にて開催されました。本年度は、県内各支部より8名の若手薬剤師の先生方にご参加をいただきました。

特別講演には、日本薬剤師連盟 総務 豊見敦先生をお招きし、「薬剤師、昨日、今日、そして明日」のテーマでご講演して頂きました。講演では、様々な視点からの医薬分業の現状や平成30年度調剤報酬改定の流れと考え方についてのお話があり、自分たちの社会における実態と目前に迫った改定に対して危機感を感じるものでした。また、医薬分業の歴史について、先人たちが今日まで築き上げてきた想いと薬剤師の職能を確立してきた苦労を改めて感じ、薬剤師の未来に向けて当事者意識が芽生えたご講演でした。



その後は、2グループに分かれ、SGDを行いました。ディスカッションのテーマは「地域のために薬剤師ができることは何か、今後点数化される点数を考える」。日々の業務の中で実際に行っているが点数化されていないこと、多職種との連携や保険外で評価をもらうこと、指導する立場として手本となる自覚を点数に結び

付けるなど、現実的なものから大胆な意見まで様々な議論が活発に飛び交い、懇親会を挟んで夜まで議論が続き、参加者の生き生きとした表情が大変印象的でした。

また、「青森県薬剤師連盟 木村隆次会長と語る会」の時間もあり、日ごろ疑問に感じていることや薬剤師の将来についての不安など、会長とより近い位置で熱く語り合いがなされました。



2日目は、次期参議院議員通常選挙組織内統一候補であります、日本薬剤師連盟副会長 本田あきこ先生より Skype を通じてご挨拶がございました。



会場スクリーンに大きく映し出された本田先生に対し参加者から政策に関しての質問がありました。本田先生からは、「薬剤師の地位の更なる向上に向けて、薬剤師法第19条改定を目標の一つに掲げ、皆様の想いを背負って頑張ります」とのお言葉を頂きました。

最後は各グループの代表者より SGD の発表がありました。今回のテーマにおいてどのような意見が出て、どんな議論がされたか、また、実際に点数化を実現するには薬剤師としていかに評価されるべきか、そしてそれを国政で意見できる人が必要であるということが発表の中でありました。



2日間の総括として、豊見先生からは「本フォーラムの学びを持ち帰り、地域で仲間を増やすことで更なる広がりにつながる」、木村会長からは「短命県という青森県の実情の中で、薬剤師として地域にもっとアプローチすることが必要」とのお言葉を頂き、本年度のフォーラムは幕を閉じました。



昨年に引き続き八戸で開催されました若手薬剤師指導者育成 Forum ですが、大変内容の濃い2日間であったと感じております。社会における我々薬剤師の現状を、歴史をたどりながら見改め、自分たちの将来を明るくするために多くの夢が語られた、実り多き場であったと思います。今回の学びや気づきを各地域に持ち帰っていただき、次代を担う若手薬剤師を中心に伝播することで、本フォーラムの意義が更なる広がりを見せると信じております。次回からはもっと多くの先生方にご参加いただき、薬剤師の未来に繋がるものになればと考えております。

今回ご参加を頂きました先生方やご協力を頂きました先生方に深く感謝申し上げます。

